



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニプロ株式会社札幌ビル	階数	地上8F
建設地	札幌市中央区南1条西18丁目291番163、西19丁目291番206	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	70人
気候区分	1地域	年間使用時間	2,490時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2016年9月20日
敷地面積	1,857 m ²	作成者	
建築面積	1,313 m ²	確認日	2016年10月20日
延床面積	8,529 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 94%

③上記+②以外の: 94%

④上記+: 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合	A 省エネルギー
断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	<ul style="list-style-type: none"> 断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。 高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。
B 省資源等 <ul style="list-style-type: none"> 節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 躯体と仕上材の分別可能な取まりや再利用できるユニット部材の採用で省資源に配慮している。 	D 雪処理 <ul style="list-style-type: none"> 外部舗装部にはロードヒーティングを設け雪処理に配慮している。
C 緑化 <ul style="list-style-type: none"> 敷地周囲を中心に耐寒性のある植物や自生種にて緑化を行っている。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される